

1. 調査概要

1. 調査概要

1.1 調査の目的

本市では、これまで舞浜地区における大規模レジャー関連施設等に起因する交通が、市街地に与える影響について把握することを主な目的とし交通量調査を実施してきたところであるが、首都高速舞浜ランプの新設や国道 357 号線の環七立体化恭なされたことにより、比較的交通量に落ち着きが見られてきているところである。

近年では新町地域や千鳥地区において、引き続き新たな開発が計画されていることや、入船地区に面した道路の開通が予定されており、これらの進展が市内の交通にどのような影響を及ぼすのか比較検討するため、その基礎となる、現時点での交通量調査を実施する必要がある。

本調査では、引き続き舞浜地区の交通を把握しつつも、新町地区及び千鳥地区の交通流動の変化を捉えることに主眼を置き、主要交差点等において交通量調査を実施し、交通流動の変化や道路整備の効果を定量的に捉えるとともに、過年度に行った交通量調査や、人口、土地・施設立地状況等の統計データを活用し、各地域また各交差点の抱える課題等を整理し、それらを解決するための対策の必要性について分析を実施することとした。

1.2 交通量調査

1.2.1 調査内容

(1) 調査概要

1) 調査日時

(a) 第 1 回調査 平成 18 年 12 月 16 日(土); 7:00~翌 1:00(18 時間連続調査)

NO.4,7,8 地点に関しては、7:00~翌 7:00 までの 24 時間連続調査

(b) 第 2 回調査 平成 19 年 1 月 16 日(火); 7:00~翌 1:00(18 時間連続調査)

NO.4,7,8 地点に関しては、7:00~翌 7:00 までの 24 時間連続調査

2) 調査地点

(a) 交通調査地点：浦安立内主要交差点 26 箇所

都市計画道路 3.3.9 号線や 3.3.10 号線等

(調査地点一覧表、調査地点図参照)

(b) 調査内容：方向別自動車交通量、渋滞長、滞留長、調査地点の車線構成、信号現示、プローブ調査

表 1.2.1 調査地点一覧表

No	調査地点名	調査項目			
		自動車 交通量	渋滞長 滞留長	車線構成	信号現示
1	浦安橋東詰交差点				
2	浦安駅前交差点				
3	猫実3丁目交差点				
4	浦安立体				-
5	入船交差点				
6	富岡交番前交差点				
7	富岡立体				
8	舞浜交差点				
9	舞浜ローズタウン前交差点				
10	運動公園前交差点				
11	富士見交番前交差点				
12	堀江交差点				
13	明海交差点				
14	高洲太陽の丘公園前交差点				
15	首都高速浦安西行入口		-		-
16	首都高速浦安西行出口		-		-
17	首都高速浦安東行入口		-		-
18	首都高速浦安東行出口		-		-
19	舞浜ランプ		-		-
20	日の出公民館前交差点				
21	高洲中央公園前交差点				
22	入船中央交差点				
23	浦安消防本部前交差点				
24	浦安警察署前交差点				
25	今川橋東詰交差点				
26	今川橋西詰交差点				

: 18 時間連続調査地点

: 24 時間連続調査地点

表 1.2.2 プローブ調査ルート

ルート	区 間
1	環七 長島町交差点 ~ イトーヨーカドー南交差点
2	環七 葛西臨海公園前交差点 ~ 浦安立体交差点



24時間調査交差点
18時間調査交差点
.....プローブ調査路線

図 1.2.1 調査地点図

(2) 調査内容及び方法

1) 自動車交通量調査

調査地点を通過する車両についてマニュアルカウンターを用いて時間別、方向別、車種別に観測を行った。

- 1) 時間帯別 60分集計
- 2) 方向別 全方向（右折、左折、直進、Uターン）
- 3) 車種別 表 1.2.3 参照

表 1.2.3 車種分類表

車種	分類	車頭番号
二輪車	原付を含む二輪車	-
タクシー・ハイヤー	タクシー・ハイヤー	3,5,7
普通乗用車	軽を含むタクシー・ハイヤー以外の普通乗用車	3,5,7
路線バス	路線バス	2
その他バス	マイクロバスを含むその他のバス	2
普通貨物車	軽貨物自動車、小型貨物自動車	4,6
大型貨物車	大型特殊を含む普通貨物以外のもの	1,9,0

車頭番号が「1及び8」の車両、自衛隊車両、外交官ナンバー 車両等は、形状で判断し、該当車両に含め観測する。

2) 渋滞長・滞留長調査

交差点流入部毎に、滞留長（赤信号から青信号に変わる瞬間の停車している車群の長さ）と渋滞長（滞留長のうち、1回の信号で通過できなかった捌け残りの車群の長さ）を10分毎に計測した。

なお、昨年までの調査では滞留長（「渋滞長」という名称で調査内容は「滞留長」）のみであったが、ピーク時に渋滞が発生する交差点が多いため、渋滞長についても計測することとする。滞留長と渋滞長の観測イメージは図 1.2.2 のとおりである。

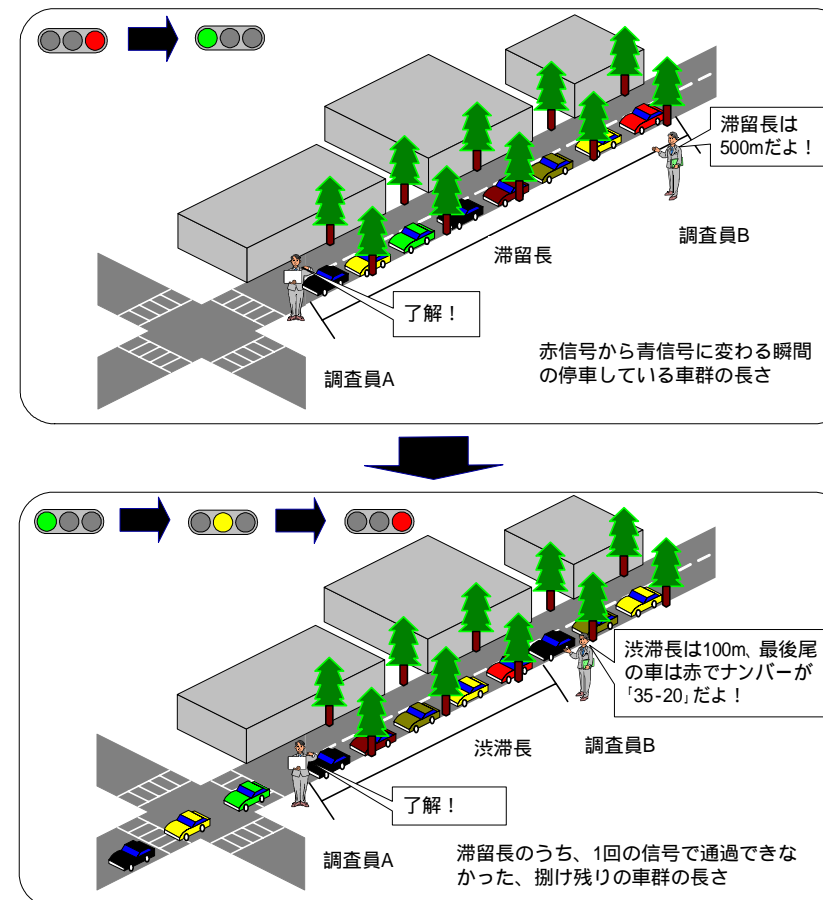


図 1.2.2 渋滞長・滞留長観測イメージ

3) 信号現示調査・車線構成調査

調査地点毎において、毎時間帯に1回、燈器毎のスプリットおよびサイクル長の計測を行うとともに、現況の車線構成（幅員、路面標示）を調査した。

- (a) 第1回調査 平成18年1月16日(土); 7:00~翌1:00(毎正時 計18回)
NO.4,7,8地点に関しては、7:00~翌7:00(毎正時 計24回)
- (b) 第2回調査 平成19年1月16日(火); 7:00~翌1:00(毎正時 計18回)
NO.4,7,8地点に関しては、7:00~翌7:00(毎正時 計24回)

4) 旅行時間調査

プローブ¹カー(データ収集機器²を搭載し、自ら走行し交通状況のデータを収集する車両)による位置・時刻情報(走行データ)の調査を行った。

前回(平成16年度)の調査内容と同様

(a) 第1回調査 平成18年12月16日(土); 7:00~翌1:00(毎正時 計18回)

(b) 第2回調査 平成19年1月16日(火); 7:00~19:00(毎正時 計18回)

1: プローブ: 実証



図 1.2.3 プローブ機材例

5) 交差点飽和度計算

今回調査を実施する市内主要交差点(信号交差点)20箇所の飽和度を算出する。

1.2.2 過年度調査結果等との比較・検証

過年度の調査結果と今年度の調査結果をもとに、主要交差点の交通量・渋滞長、交差点飽和度等について比較し、新町地区、千鳥地区及び舞浜地区周辺交通を中心に経年的な傾向とその変化を捉え、整理した。

1.3 交差点交通量と面整備、道路整備状況との関連性分析

1.3.1 交差点状況分析

(1) 検討目的

今回調査を実施する主要交差点26地点について、交通量、渋滞長、滞留長等の結果をもとに評価表を作成することを目的とした。

(2) 検討内容

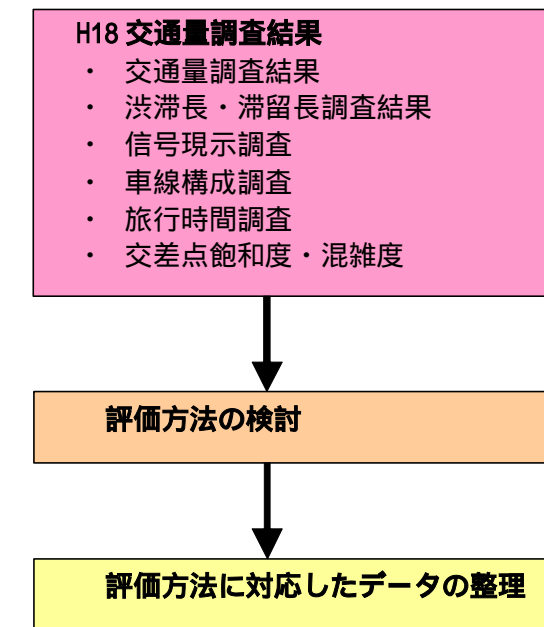


図 1.3.1 調査フロー

1) 評価方法の検討

平成18年度の交通量調査結果(平日・休日)をもとに、問題箇所抽出のための評価方法について検討した。

2) 評価方法に対応したデータの整理

平成18年度の交通量調査結果(平日・休日)及び調査箇所の沿道状況等の整理は、(a)の評価方法に対応した一覧表を作成した。

1.4 交通状況と面整備、道路整備状況との関連性分析

1.4.1 調査目的

浦安市では、経年的に主要交差点の交通量調査を実施しており、経年的なデータ収集を行う枠組みができています。今までの調査では、これら主要交差点の交通量、渋滞長（滞留長）交差点飽和度等の結果を用いて、過年度比較分析を行ってきた。

しかし、交通量調査結果のみの比較分析では、どのような要因で交通量が増加（減少）したか、渋滞が増加（減少）したかが明確につかめないことがあった。そこで、本調査では、浦安市の統計データを用いて、過去10年における人口や土地利用状況の変化、道路整備状況を整理するとともに、交通状況との関連性について分析した。

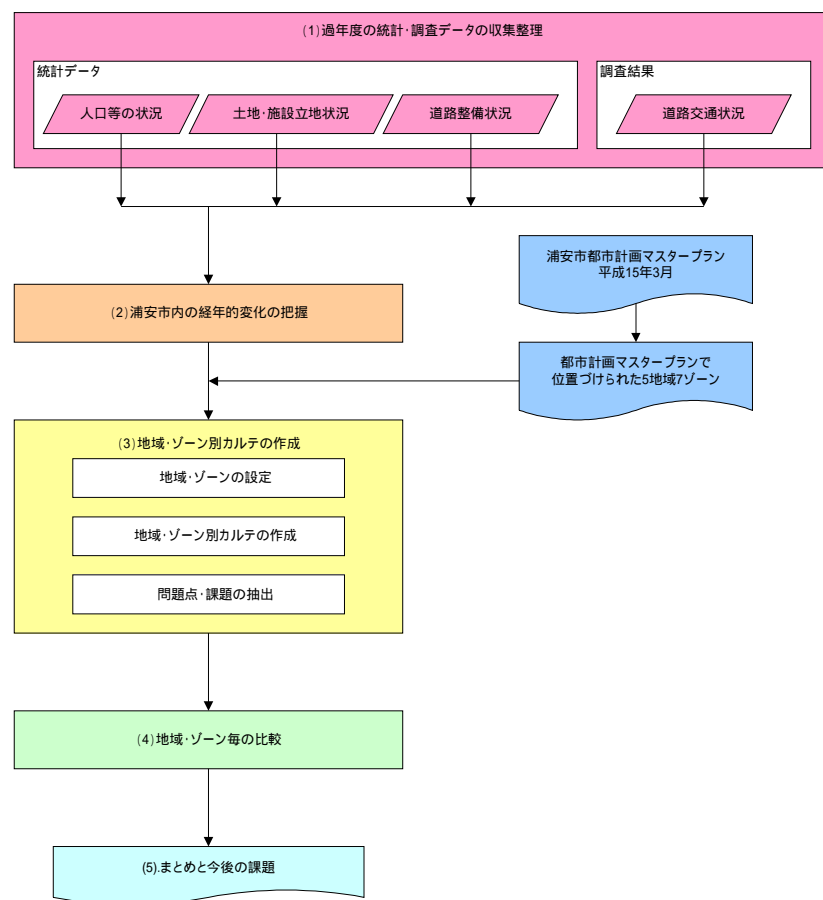


図 1.4.1 調査フロー

1.4.2 調査内容

(1) 過年度の統計・調査データの収集・整理

過去10年の統計・調査のデータの収集・整理を行った。

1) 人口等の状況の変化

- ・ 字別丁目別夜間人口（データ：浦安市統計書）
- ・ 字別丁目別従業人口（データ：浦安市統計書）

2) 土地・施設立地状況の変化

- ・ 大規模団地の立地年次（データ：私設団地、浦安住宅管理組合連合会 HP）
（データ：市営団地、浦安市調べ）
- ・ 公共施設の立地年次（データ：浦安市調べ）
- ・ その他主要施設の立地年次（データ：浦安市調べ）

3) 道路整備に関するデータ：都市計画道路を対象とする。

- ・ 道路延長（データ：浦安市調べ）
- ・ 交差点改良等の状況（データ：レジャーランド開発に伴う交通対策に関する調査より）
- ・ 幅員（データ：浦安市調べ）

4) 道路交通状況（過年度の調査結果）

- ・ 12時間断面交通量（データ：浦安市内主要交差点等交通量調査 報告書）
- ・ ピーク時交通量（データ：浦安市内主要交差点等交通量調査 報告書）
- ・ 渋滞長（データ：浦安市内主要交差点等交通量調査 報告書）
- ・ 交差点飽和度 等（データ：浦安市内主要交差点等交通量調査 報告書）

(2) 浦安市内の経年的変化の把握

(1) で収集・整理したデータを用いて、浦安市全体の人口や土地利用状況、道路整備状況を経年的に整理した。（イメージ1、2）

(3) 地域・ゾーン別カルテの作成

「浦安市都市計画マスタープラン（平成15年3月）」では、浦安市域5つの生活圏と2つ特定用途ゾーンに浦安市域を分割し、1.3.1で作成した一覧表と(2)で収集・整理したデータを用い、地域・ゾーン別の状況（人口動態、道路整備、交通状況等）の変化を整理して上で、問題点・課題の抽出し、それらを解決するための必要性について分析を行い、図・表を用いてわかりやすく整理した。最終的に各ゾーン別に行った分析を市域全体としてまとめることとした。

1) 地域・ゾーン別カルテの設定

ゾーンの設定は、「浦安市都市計画マスタープラン（平成 15 年 3 月）」で設定されている 5 地域 2 ゾーンを対象とした。（図 1.4.2 参照）



図 1.4.2 浦安市都市計画マスタープラン
（平成 15 年 3 月）設定された 5 地域 7 ゾーン

2) 地域・ゾーン別分析結果表の作成

(1) で収集・整理したデータを用いて、1) で設定した地域・ゾーン毎にカルテを作成した。

3) 問題・課題の抽出

2) で整理した内容について、各地域・ゾーンの性格や特性を明らかにするとともに、その地域・ゾーンの問題点・課題の整理を行った。

4) 地域・ゾーン毎の比較

(3) で作成したカルテを用いて、地域・ゾーンの整備のあり方を捉えるために、地域・ゾーン毎に比較・分析を行った。

5) まとめと今後の課題

1) ~ 4) の結果についてのとりまとめと課題の整理を行い、それらをもとに市域全体のとりまとめを行った。

1.5 今後の交通調査のあり方

今年度と過年度の結果をもとに交通調査のあり方（大規模、中規模、小規模）について検討した。